リーブ21 Good Days for Your Life

NEWS RELEASE

＜報道関係者各位＞

2009 年 10 月 1 日

リーブ 21 は、今年もピンクリボンフェスティバルに協賛します

抗がん剤の副作用による脱毛を防ぐための取り組みも進めています

発毛専門の 株式会社 毛髪クリニック リーブ 21（大阪市中央区、代表取締役：岡村勝正、以下、リーブ 21）は、乳がんの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを伝える“ピンクリボン運動”の一環として、「ピンクリボンフェスティバル 2009（朝日新聞社など主催）」に協賛いたします。

また、乳がん月間の 10 月より、本社及び全国に展開する 100 カ所以上の店舗に、「ピンクリボンフェスティバル 2009」のリーフレットを設置するなど、たくさんの方にメッセージを伝える取り組みを進めてまいります。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

近年、乳がんの抗がん剤治療（化学療法）は、その治療法の進歩に伴い、優れた治療実績をあげています。しかし、その反面、嘔吐、食欲不振、白血球減少などの様々な副作用が問題となっています。取り分け、抗がん剤治療に関与する脱毛については、これまで積極的な対策がとられていませんでした。特に目に見える副作用としての脱毛は、精神的な苦痛や、本人の QOL（生活の質）を考えると大きな問題でもあります。

リーブ 21 は、2009 年 5 月にディグニターナ社（スウェーデン、CEO：Martin Waleij マーチン ワレイジ）と、日本での『DigniCap™』の独占販売代理契約を締結致しました。

『DigniCap™』は、抗がん剤治療中の患者様の頭皮を、均一に一定の温度で冷却することにより、患者様の脱毛の予防または脱毛の軽減を目的に、スウェーデンのがん治療専門看護師、ドクター及び大学教授らにより開発された医療機器です。

ヨーロッパにおいては、スウェーデンをはじめ、デンマーク、ノルウェー、フィンランドの北欧だけでなく、イギリス、ドイツ、フランスなどの医療機関への導入が進んでおり、利用患者数はすでに 5,000 人以上に及びます。

今後、リーブ 21 では、監督官庁、関係機関のご指導を得ながら、頭皮冷却装置の日本における医療機器承認を取得し、乳がん専門の医療機関向けに頭皮冷却装置を提供していきたいと考えております。そして、“ピンクリボン運動”を応援し、乳がん患者の方々が抱える脱毛による精神的な苦痛や心の痛みを少しでも和らげていただけるよう、サポートして参ります。

※『DigniCap™』は生産地スウェーデンでの商品名です

※『DigniCap™』は、現在、日本では未承認医療機器であり、販売・授与はできません

～今年の取り組み～

◇「ピンクリボンフェスティバル 2009」のリーフレットを、本社及び全国に展開する 100 カ所以上の店舗に設置します。

◇ピンクリボン啓発パンフレットをレディース専用店舗に設置し、配布します。

◇「ピンクリボンスマイルウォーク 2009」へ社員が参加します。

本件に関するお問合せ先
株式会社 毛髪クリニックリーブ 21
広報部